

A 2010 1 月 3 日 あたらしくうまれる

わたしたちは、すでにかみのこなのである。 I ヨハネ 3・1

① ③の●の方に自分を書く。⑤の☆の方には笑顔の自分を書く。

② ①、②、③を太線で切り取る。

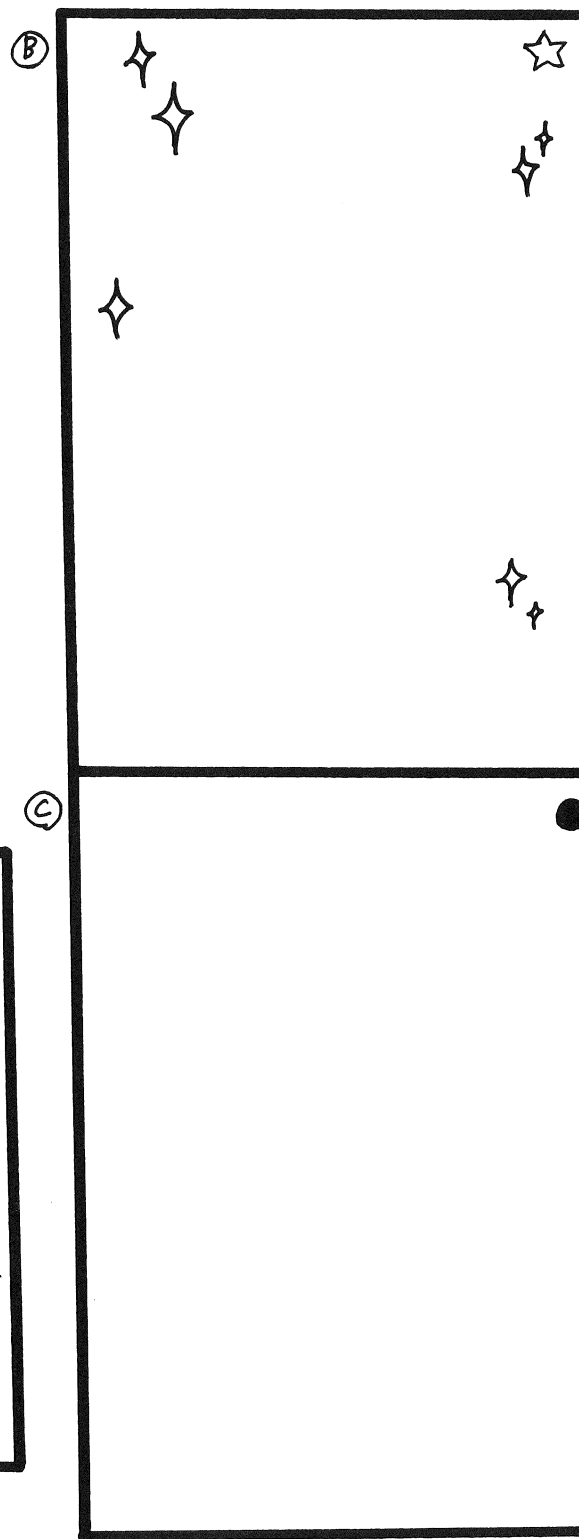
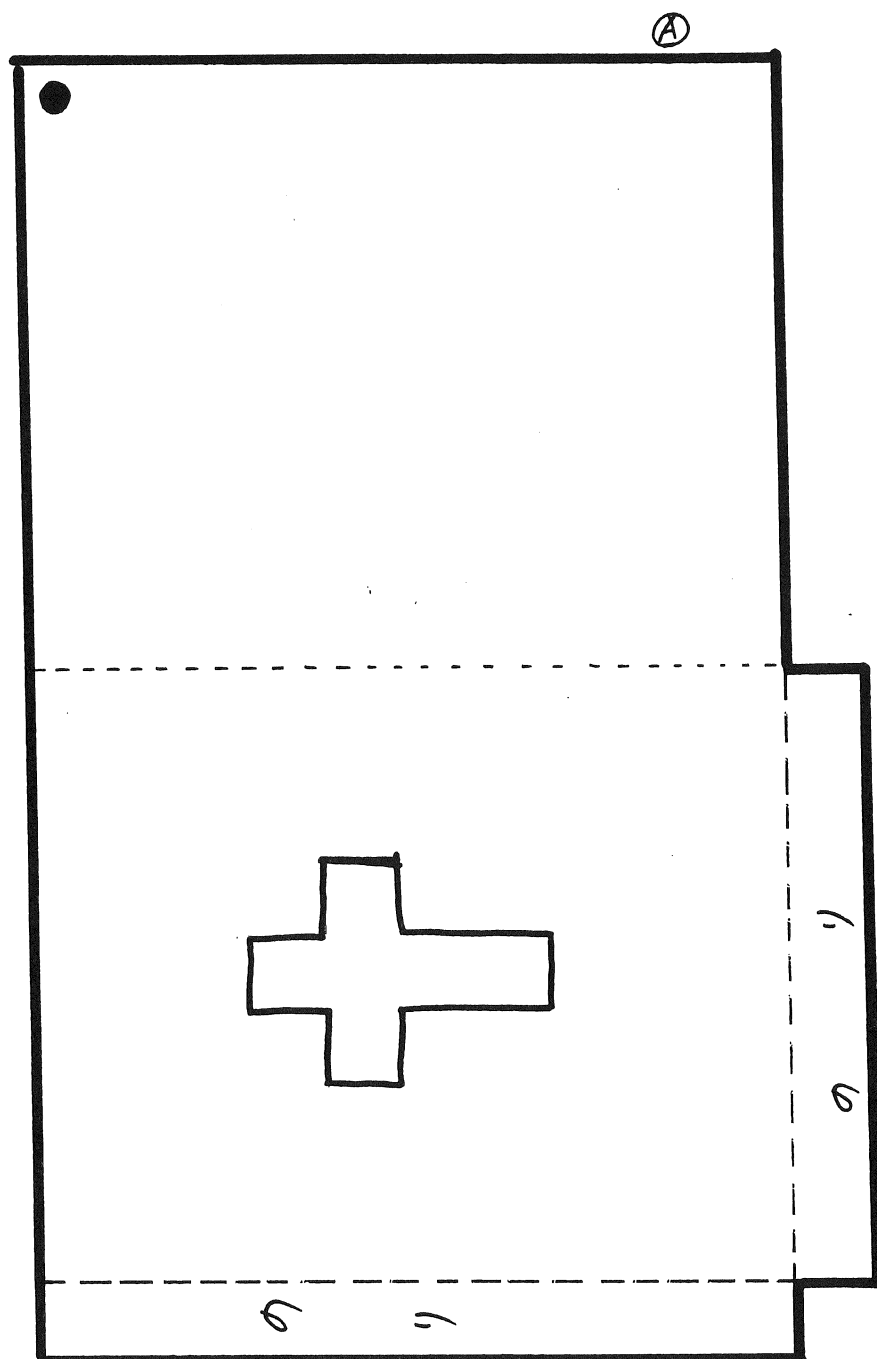
③ ①はのりの部分に、のりをつけ、点線を山折りにして、袋を作る。

④ ②、③を外表にのりをつける。

⑤ 袋の●の側を自分に向け、③を見ながら袋に入れる。

⑥ ひっくり返し⑤の方を見ながら、中に入れた紙を取り出す。

なまえ _____



① □ に自分の顔(Aは普通の顔、Bはにこにこ顔)を書く。

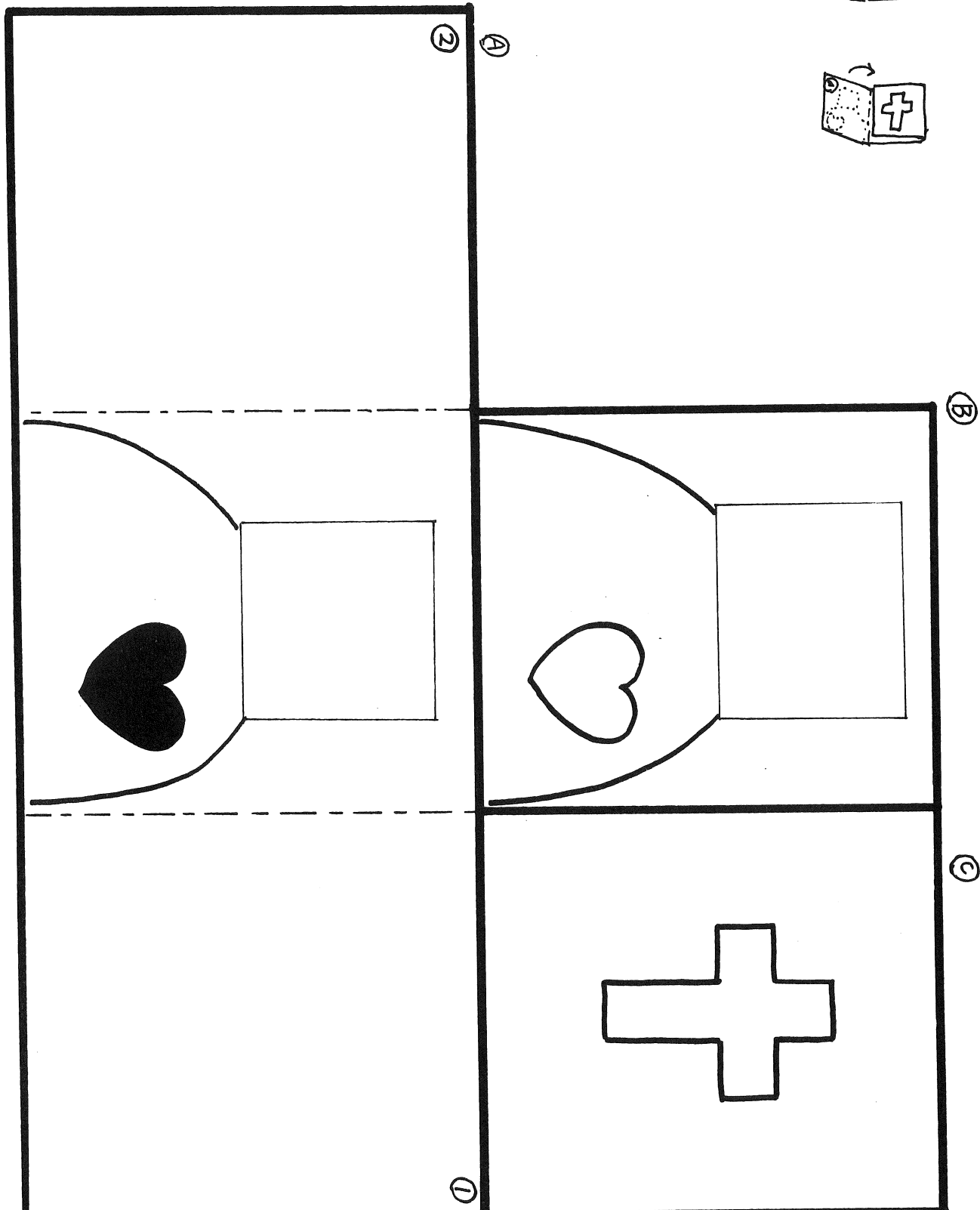
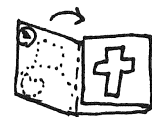
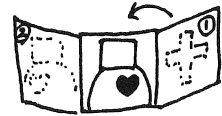
なまえ _____

② A、B、Cを太線で切り取る。

③ Aの①の裏にC、Aの②の裏にBを外表になるようにのりつける。

④ まず①を-----で谷折りにし、次に②を-----で谷折りにする。

(罪のいかに イエス様の十字架により、きれいになりました)

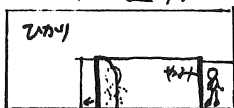


なまえ _____

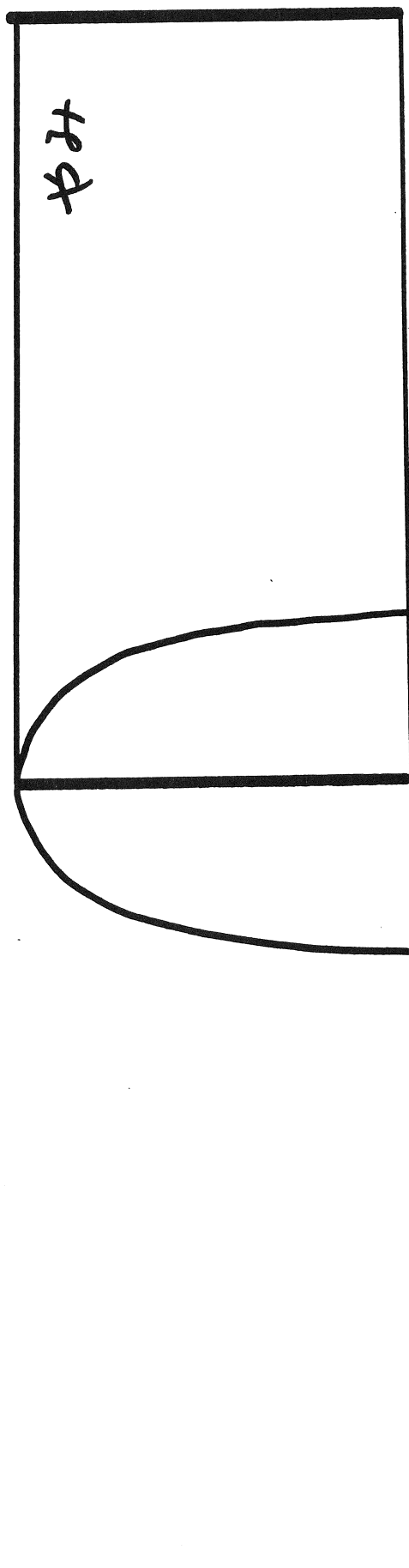
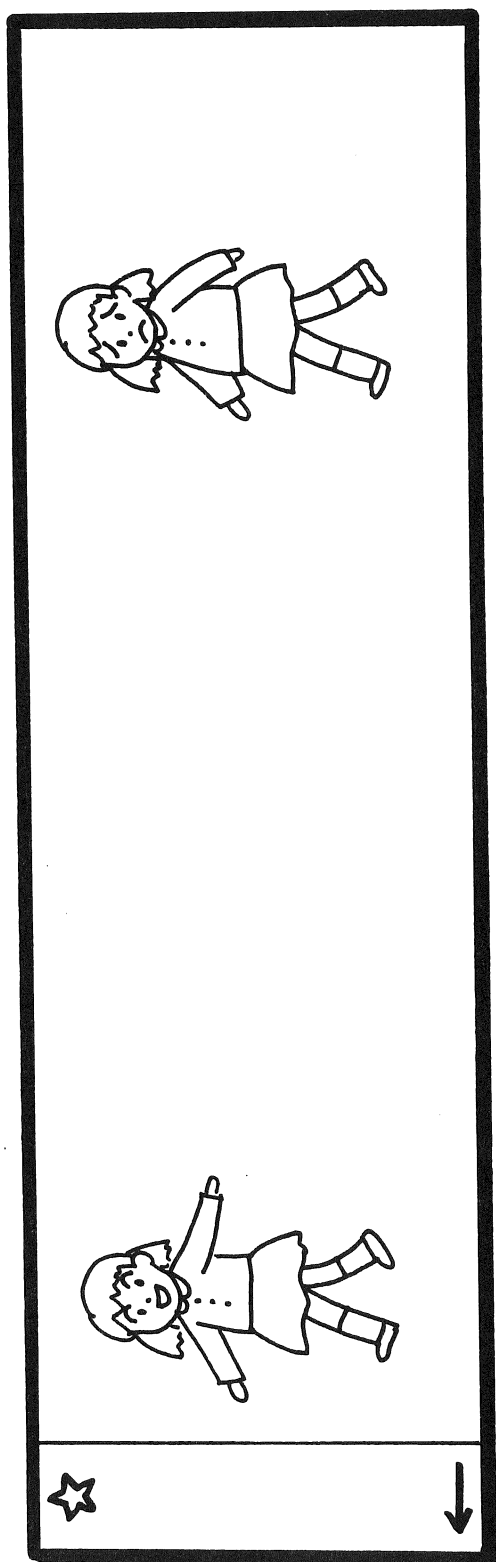
① ☆を太線で切り取る。
(女の子に色をぬいてもいい)

② トンネルの太線に切り込みを入れる。

③ ☆を切り込みに通す。



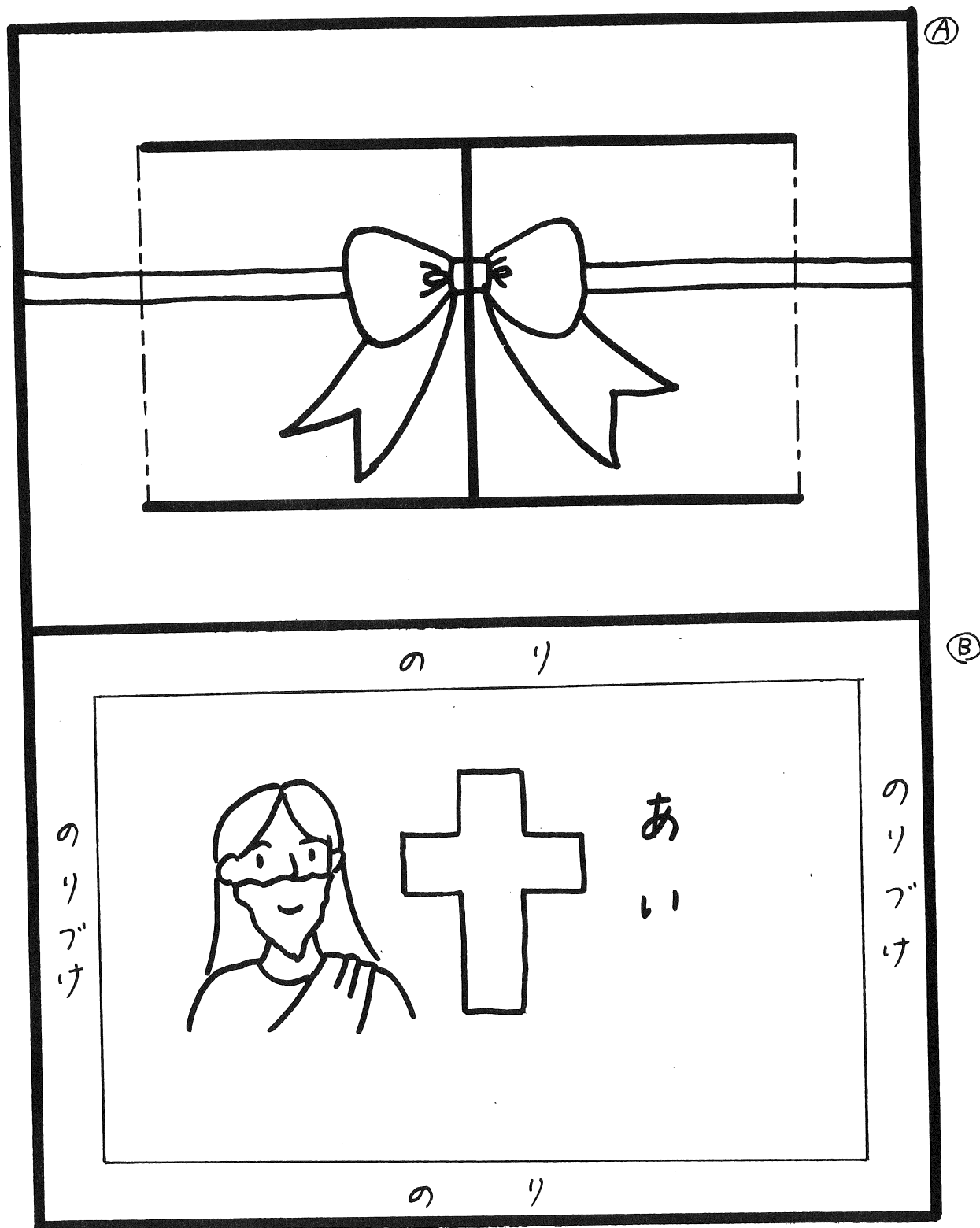
④ 矢印の方向に引はる。



ひかり

なまえ _____

- ① 絵に色をぬる。
- ② 太線で切り取る。①の太線に切り込みを入れる。
- ③ ①の-----を谷折りにし、軽く折り目をつけておく。
- ④ ②ののりかけ部分にのりをつけ、③のえに①をはる。
- ⑤ ①の戸の部分を開ける。

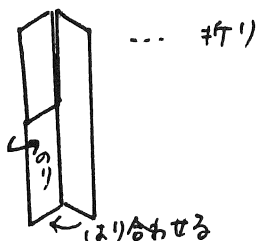


なまえ

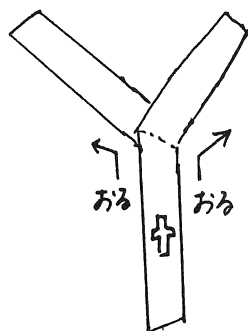
① ①に色をぬる。
羽になる部分は裏もぬる。

② 太線で切り取る。

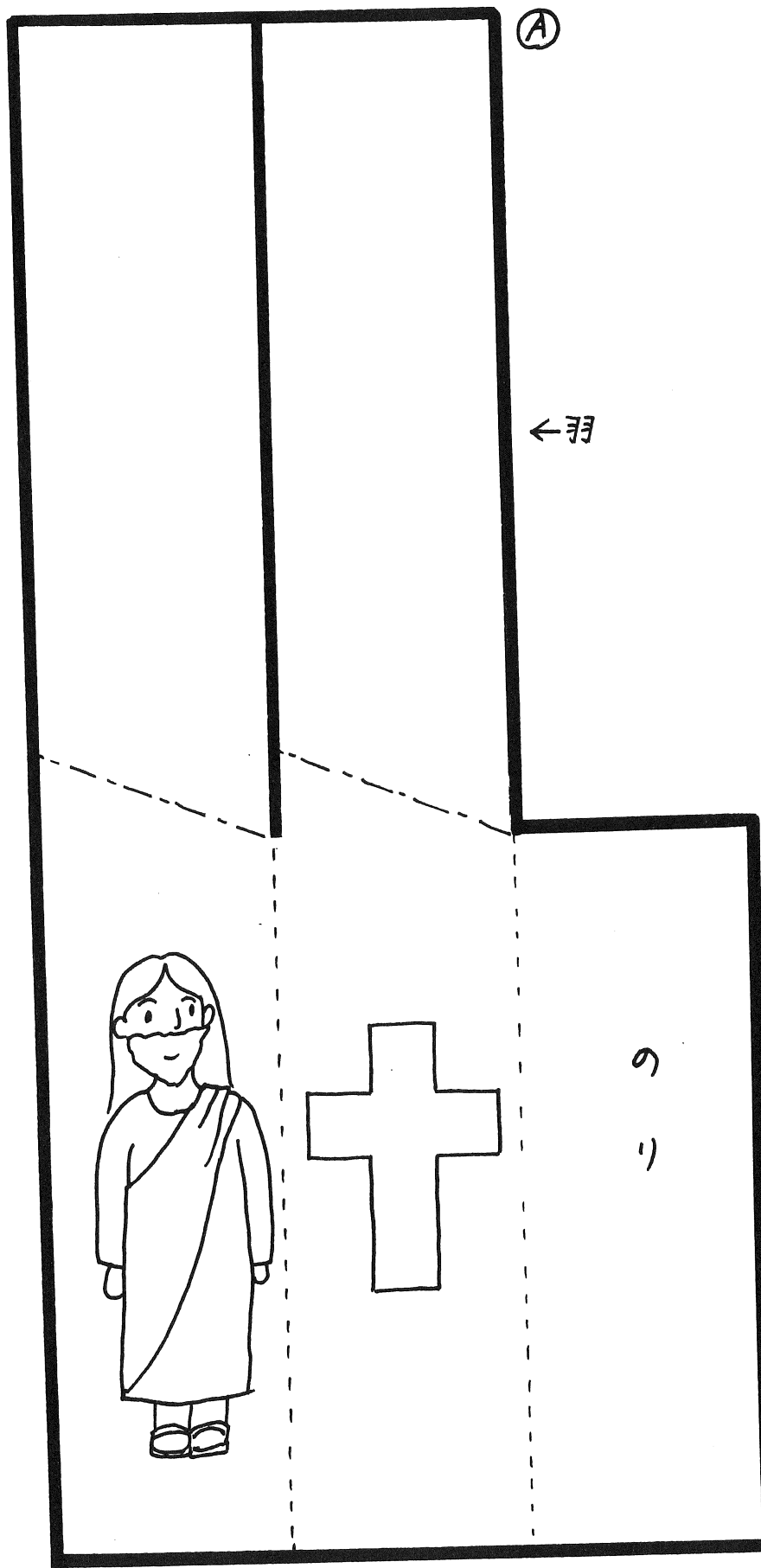
③ 点線で折ってのりつける。



④ 羽の部分を-----で谷折りにする。



⑤ 高いところから先生や落として、
子どもは受け取る。



A

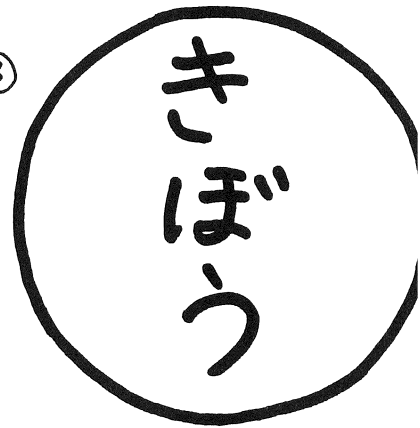
2010 2月7日 えいこうにあずかるきぼう

キリストが、わたしのうちにきて
おられるのである。ガラテヤ2・20

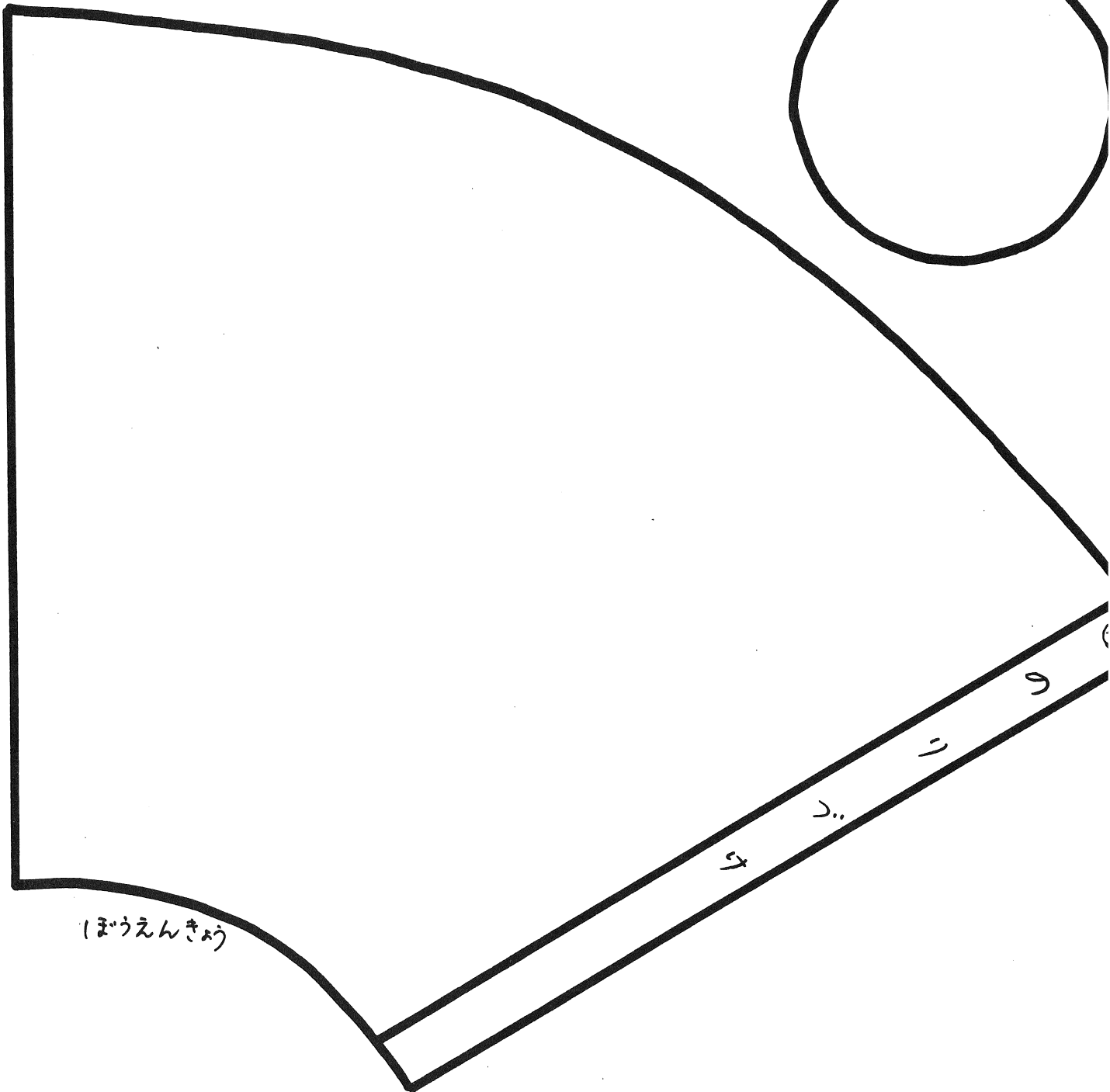
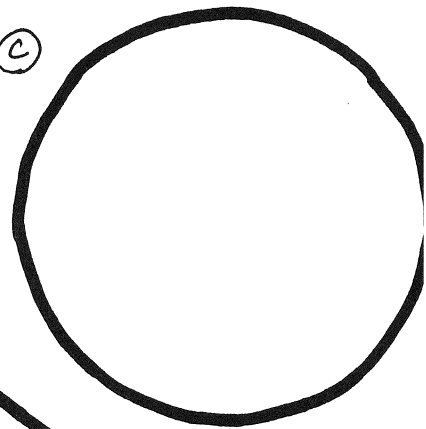
なまえ

- ① ① ② ③ を太線で切り取る。(色をぬいてもよい)
- ② ① をのりづけし、望遠鏡を作る。
- ③ ④ には自分の好きなことばを書き、⑤、⑥を
遠くにはり、望遠鏡をのぞいて、⑤、⑥を見つける。

⑤



④



A 2010 2月14日 キリストがうちに

キリストが、わたしのうちに

いきておられるのである。ガラヤ2・20

なまえ

①

Aに色をぬり切り取る。

②

「キリストが」生きておられる」

わたしのこころを

B～Dの中から選び

色をぬり切り取る。

③

②をAの♡部分に

貼る。

④

Aの右側♡部分を谷折りし。

開いたり閉じたりする。



B



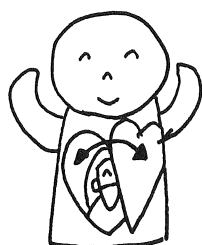
C



D



—完成図—

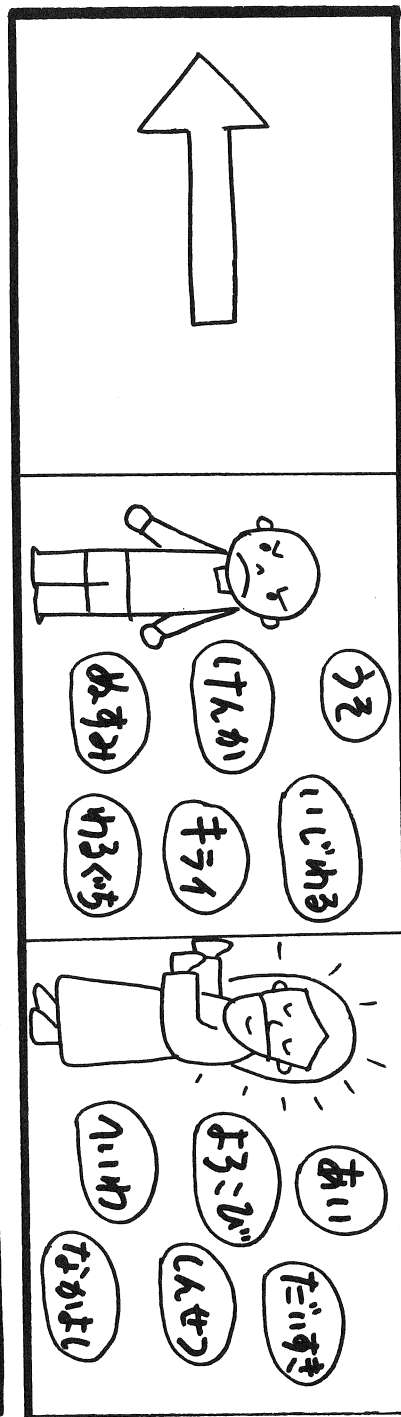
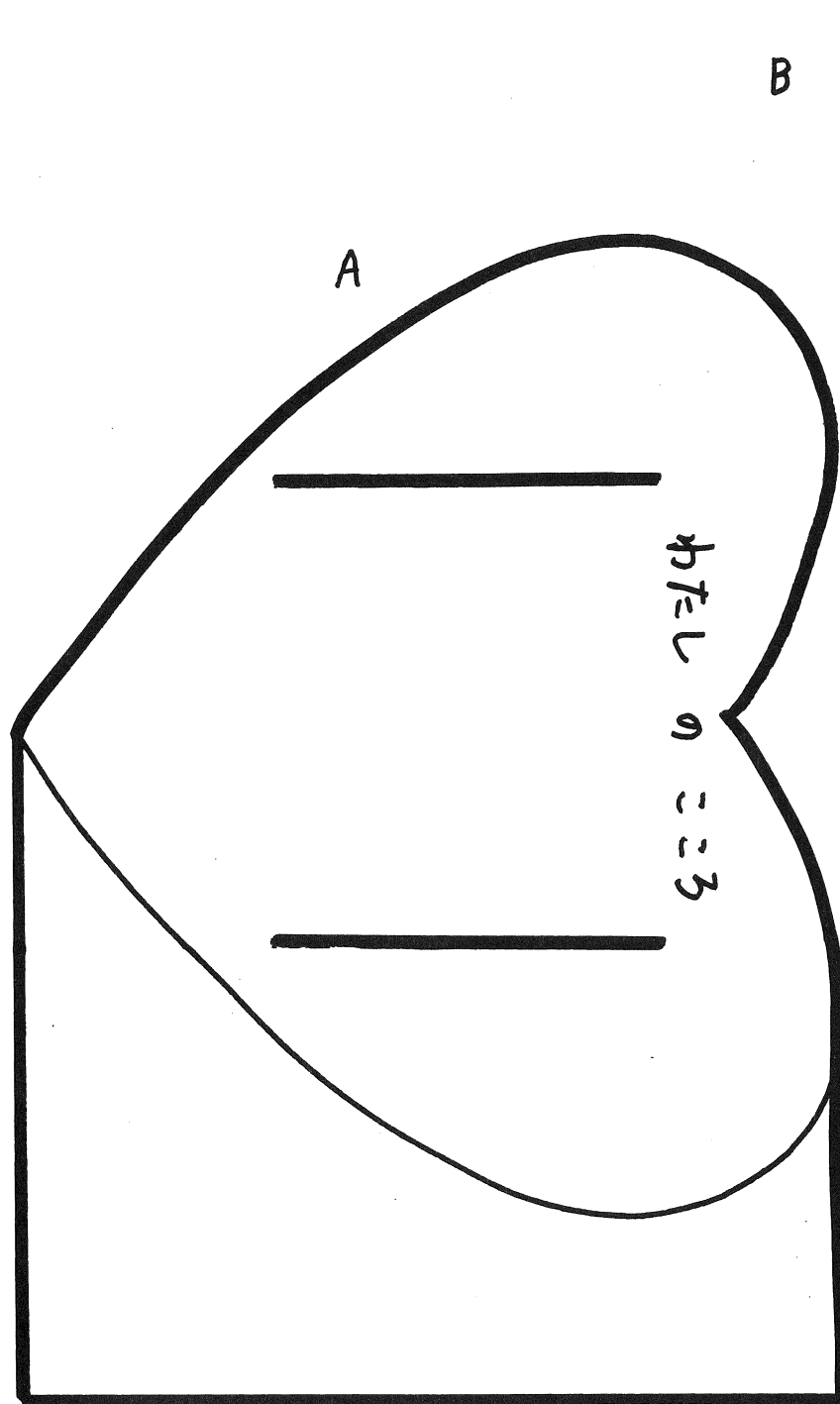


—— 切り取り線

- - - - 谷折り線

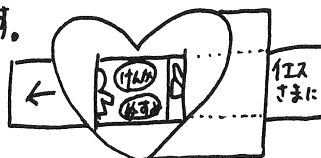
キリストが、わたしのうちに
いきておられるのである。ガロヤ2・20

なまえ



- ① A.Bに色をぬり切り取る。
- ② Aの♡内部に切り込みを入れる。
- ③ Bを図のようにAに差し入れ、Bを重かす。

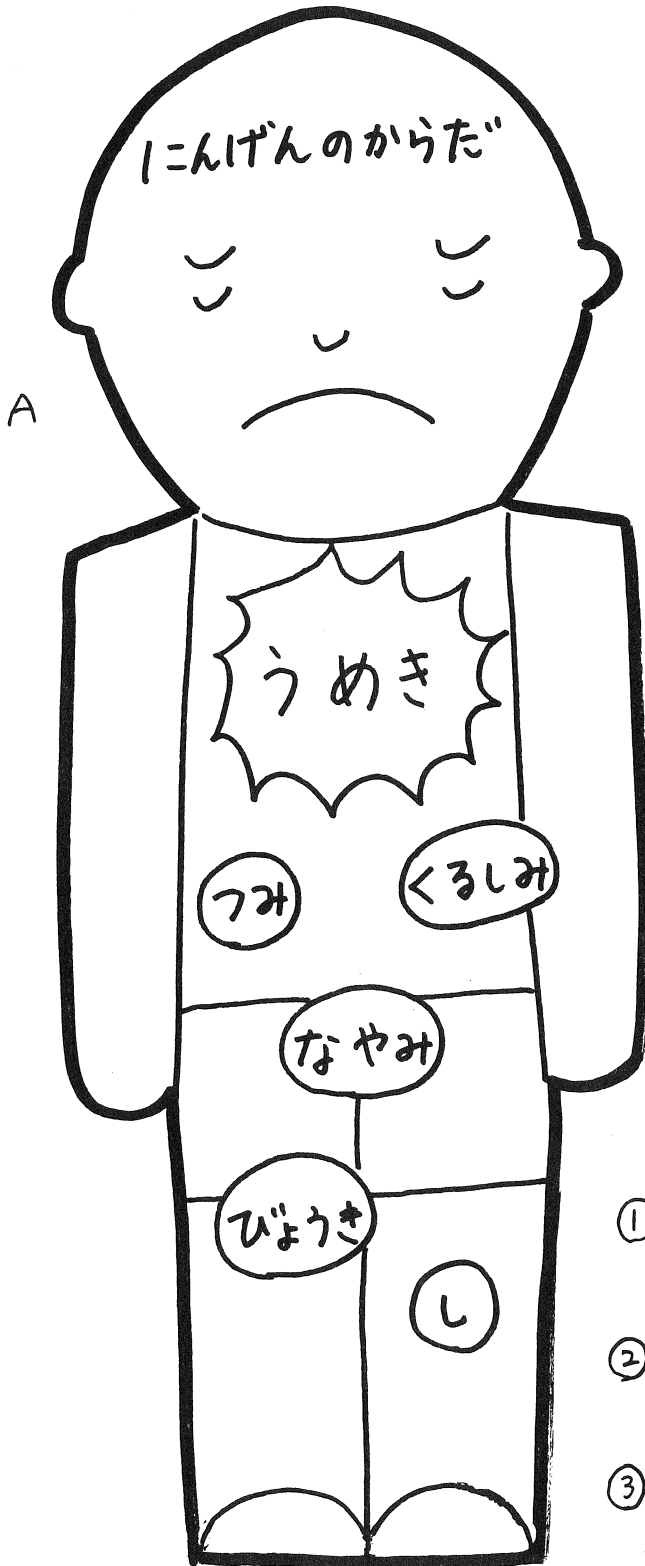
—完成図—



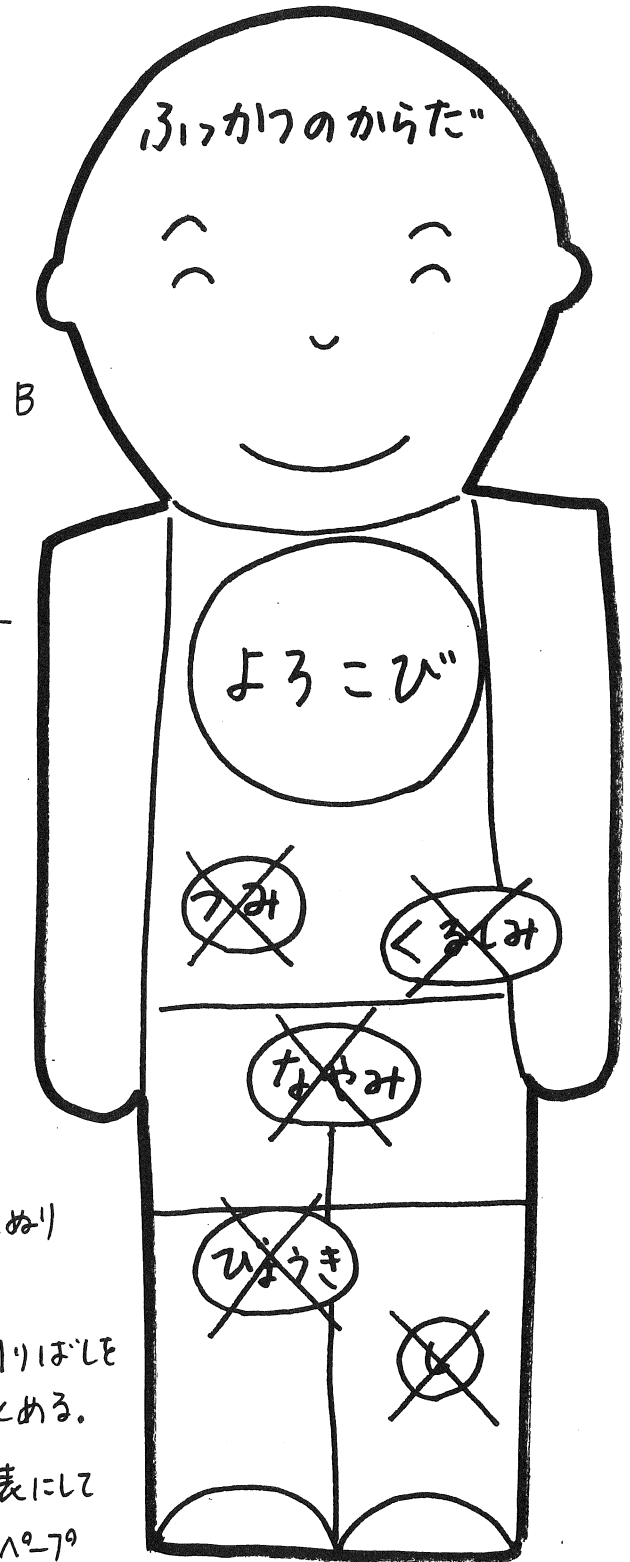
—— 切り取り線

イエスさまを
こころに
おひかえすると……

なまえ _____



—完成図—



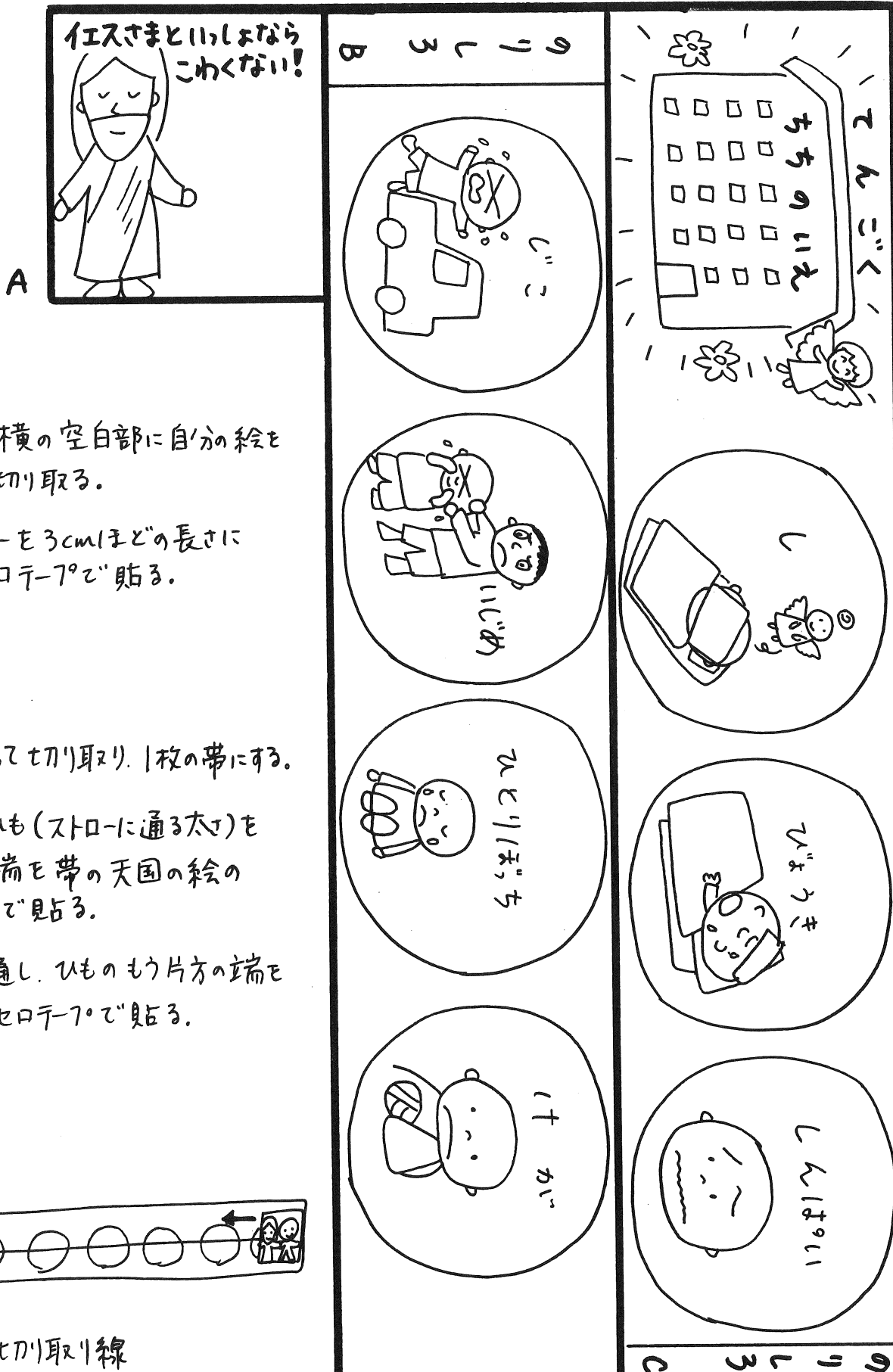
- ① A、Bに色をぬり
切り取る。
- ② Aの裏に割りばしを
セロテープでとめる。
- ③ A・Bを外表にし
見合わせ、ハサミで
サートをつくる。
- ④ 復活のからだのすばらしさを確認しよう。

——切り取り線

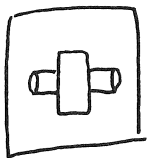
しかり、わたしはすぐにくる。

もくしろく 22・20

なまえ

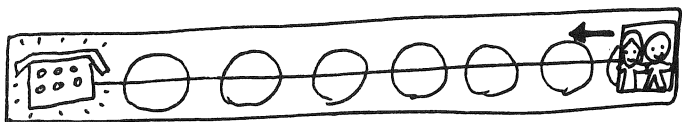


- ① Aのイエス様様の横の空白部に自分の絵を描き、色をぬり切り取る。
- ② Aの裏に、ストローを3cmほどの長さに切ったものをセロテープで貼る。



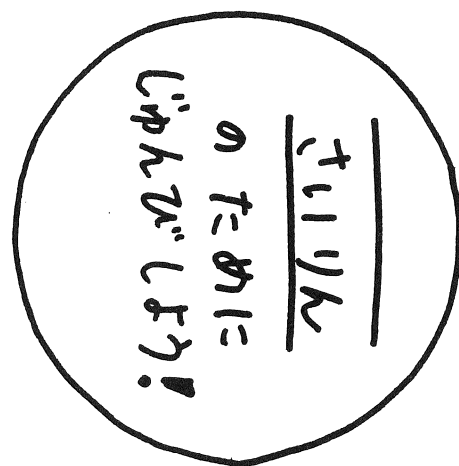
- ③ B.C に色をぬりて切り取り、1枚の帯にする。
- ④ 50cmくらいのひも(ストローに通る太さ)を用意し、片方の端を帯の天国の絵の手前にセロテープで貼る。
- ⑤ ひもに②を通し、ひものもう片方の端を帯の右端にセロテープで貼る。
- ⑥ ②を重利かす。

— 完成圖 —

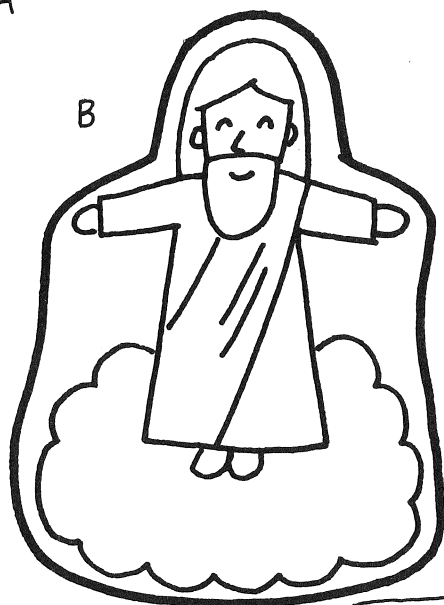


一切取り線

なまえ



A



B

C

イエスさまをしんじる

イエスさまにしたがう

イエスさまが
こられるのをまつ

— 完成図 —



切り取り線

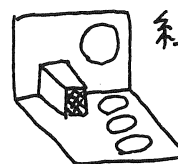
谷折り線

① A. B. C に色をぬり
切り取る。

② A を中表にし半分に折り
切り込みを入れ、左図の
太線部分に
しかりと折り目
をつける。

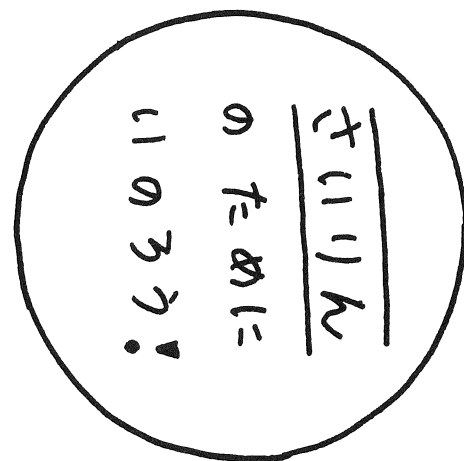
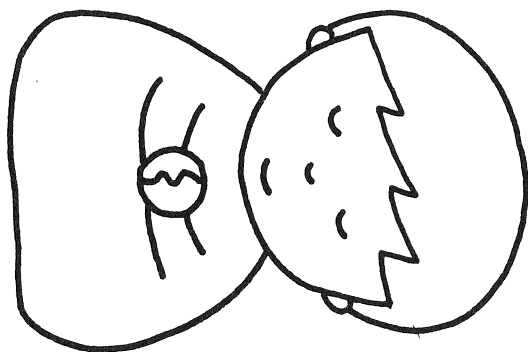


③ A を広げ 図のように
組み立てる。

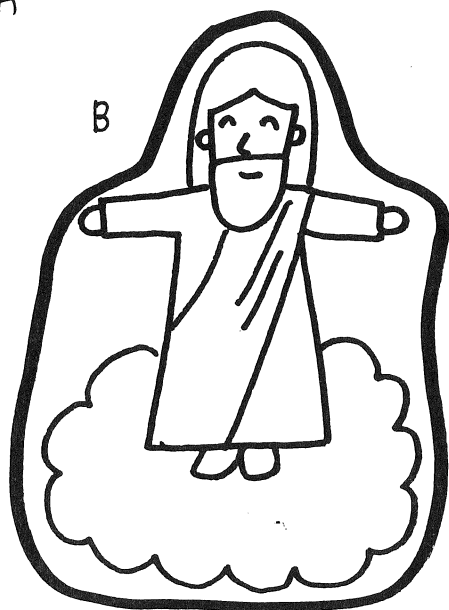


④ 上図 図部分に B を。
○ 部分に C を見張り付ける。

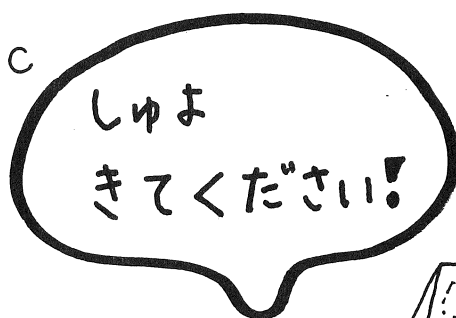
なまえ



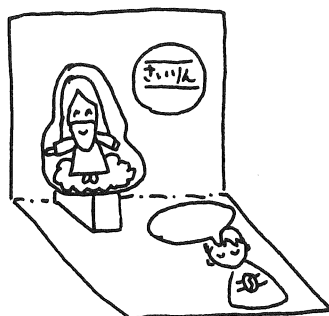
A



C



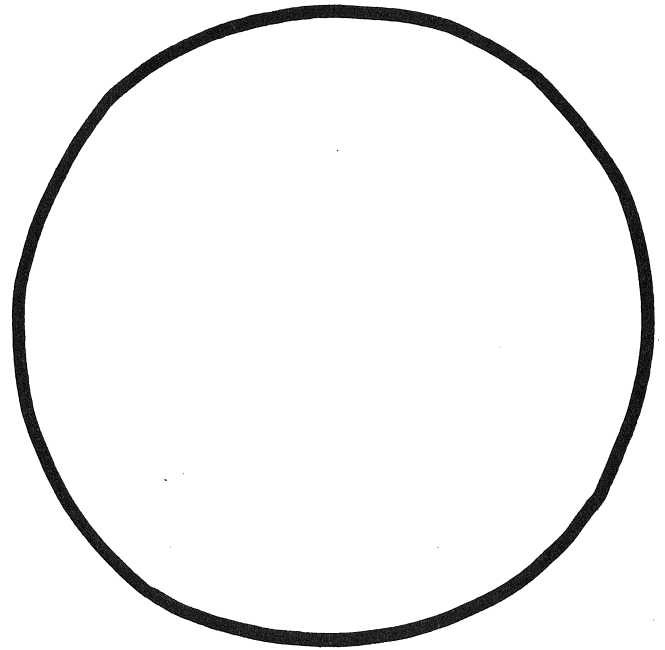
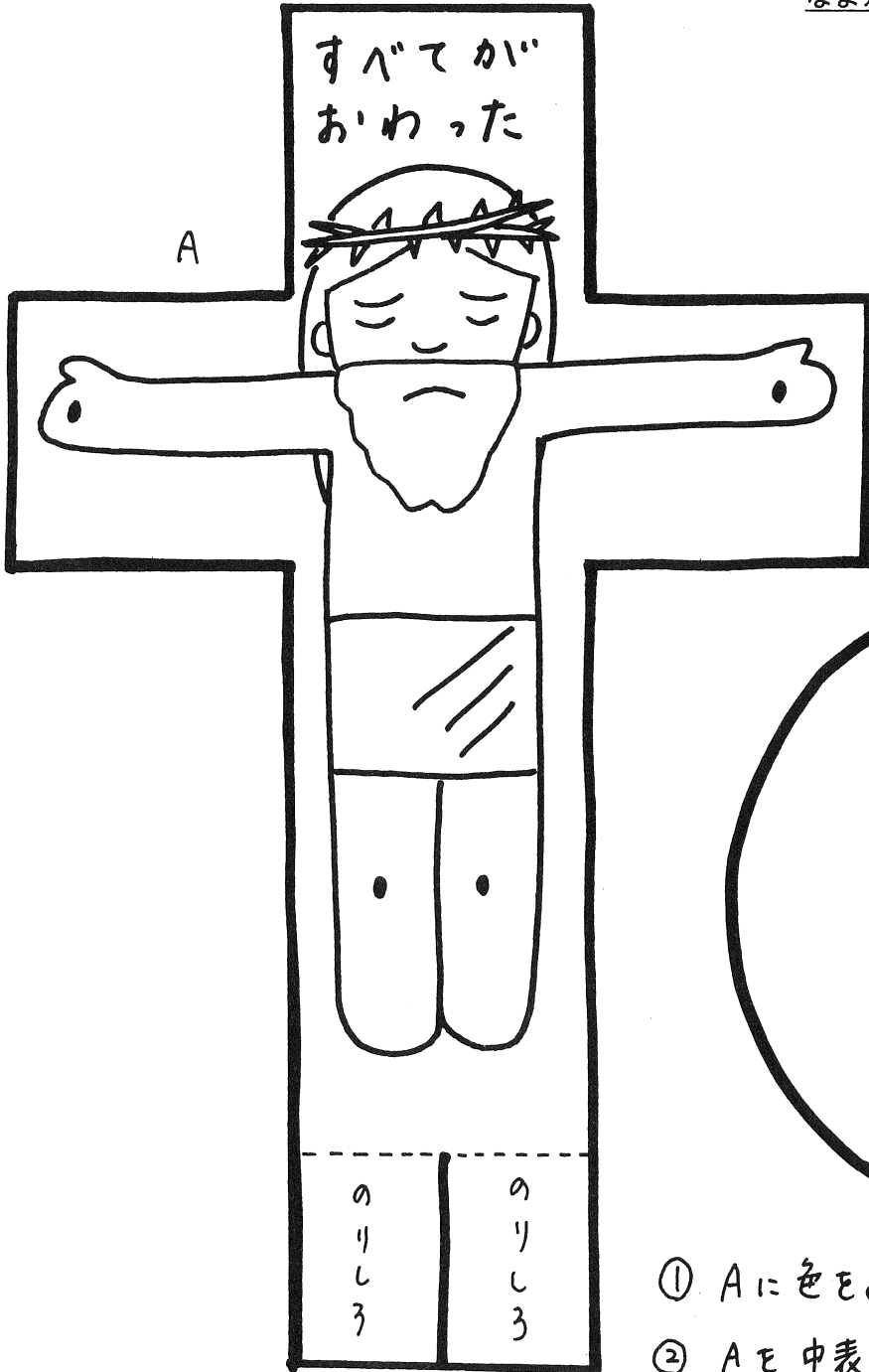
— 完成図 —



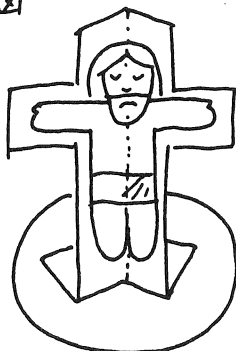
- ① A、B、C に色をぬり 切り取る。
- ② A を中表にして半分に折り 切り込みを入れ 左図の太線部分にしっかりと 折り目をつける。
- ③ A を広げ、図のように 組み立てる。
- ④ 上図 図部分に B を、 祈っている子どもの上部部分に C を貼り付ける。

—— 切り取り線
- - - 谷折り線

なまえ _____



— 完成図 —



- ① Aに色をぬり切り取る。
- ② Aを中表にしてたて半分に折る。
- ③ 十字架の足元を山折りする。
- ④ BにAを立たせるようにして貼る。



—— 切り取り線
----- 山折り線

ワーク A 解説 1~3月

(1/3~2/7 吉田、2/14~3/28 鎌野)

1/3

●話し方のヒント

ニコデモは、どうしても知りたいことがあって、イエス様を訪ねました。人はどうしたら天国へ行けるのか教えて欲しかったのです。しかし、イエス様が教えてくださったのは「だれでも新しく生れなければ、神の国を見ることはできない」ということでした。新しく生れるとはどういうことなのでしょう。イエス様は私たちの罪のために、十字架にかかって死んでくださいました。そのイエス様を信じる人は、どんな人でも神様から罪を赦されて、新しく生れることができます。私たちもイエス様を信じて、新しく生まれ変わりましょう。

●ワークについて

新しく生まれ変わることを、目で見、感じとりましょう。

1/10

●話し方のヒント

この世にいるすべての人は、罪人として生まれて来ます。罪人のままで生活していると、いつまでもたっても神様の前に正しい者とされず、将来、神様によってさばかれるのです。では、正しい者と認められるにはどうしたらよいのでしょうか。それは、イエス様の十字架は私のためであったと信じるだけでよいのです。信じるならば、罪赦されて、神様の前に正しい者とされるのです。あなたはこの神様からの恵みを受け取りましたか。イエス様を信じましょう。

●ワークについて

イエス様の十字架の恵みをいただき、正しい者とされるとはどういうことか確認しましょう。

1/17

●話し方のヒント

イエス様を信じていない人は、毎日、暗闇くらやみの中を歩いています。暗闇とは、真っ暗な世界で、進む道さえわからない世界です。神様は「罪を持ったままでは、どんなに頑張っても、いつも闇の中にいるのと同じです」と言われます。では、明るい光の中を歩くためにはどうしたらよいのでしょうか。「もし、私たちが自分の罪を告白するならば」とありますが、神様の前に、今までおこなって来た悪いことを告白し、神様に「ごめんなさい」と、おわびすることです。そうするならば、神様は赦してください、光の中を歩けるようにしてくださいます。あなたは神様の前に素直に「ごめんなさい」と言えますか。

●ワークについて

闇の中を歩くことと光の中を歩くことには、どのような違いがあるのでしょうか。考えてみましょう。

1/24

●話し方のヒント

あなたは神様の子どもですか。私たちには肉親のお父さんとお母さんがいますが、イエス様の十字架を信じて罪を赦された者は、全員、神様の子どもとされます。その上神様は、神の子とされた私たちを、親が子どもを愛するように愛してくださいます。神の子とされた私たちは、やがて、イエス様がもう一度この地上に来てくださる時、イエス様に似る者とされることが約束されています。顔や形が似るのではなく、イエス様のように生きることができるようになるのです。あなたは神様を愛していますか。神様はあなたを愛しておられます。

●ワークについて

神様からの愛のプレゼントを受け取りましょう。子どもたちが作った作品を先生が集めて、それぞれを作った子どもたちへプレゼントのように渡して（返して）あげてください。

1/31

●話し方のヒント

私たちはイエス様を信じて神の子とされました。神の子とされた特権は何でしょう。まず、神様のことを「お父さん」と呼んでお祈りをする事ができることです。また、相続人とされることです。神の子とされ、相続人と認められた者は、神の国、神の恵みを受け継ぐことができるのです。これは、聖書に約束されていることです。神の子としてくださった神様が、私たちに対してたくさんの恵みをくださることを信じて、感謝しましょう。

●ワークについて

神様の恵みは、信じる者に与えられることを覚えましょう。

2/7

●話し方のヒント

私たちが神様を信じていない時は、闇の中を歩いていました。しかし、イエス様を信じて、神の子とされた私たちは、今、光の中を元気に歩いています。その先には一体何があるのでしょうか。それは、信じることによって与えられる恵みと希望です。この希望は決して失望に終わることがありません。そして、この希望は私たちに喜びを与えてくれます。いつ、どんなことがあっても、一緒にいてくださる神様と希望の道を歩みましょう。

●ワークについて

私たちの未来に、恵みと希望があることを覚えましょう。

2/14

●話し方のヒント

イエス様を信じるとは、どういうことでしょうか？イエス様を私の救い主と知って、どんな小さなこともイエス様に頼って生きて行くことです。自分で考える前にイエス様に聞き、自分で何かをする前にイエス様に聞き、イエス様が教えてくださるとおりに生きることです。そうする時、イエス様は私の内に生きてくださり、イエス様と一つになって共に生きる「私」になります。イエス様が一番になります。イエス様を信じて、イエス様と共に生きて行きましょう。

●ワークについて

Cを選ぶことによって、イエス様が私の内に生きてくださるなら、イエス様が一番になることを覚えましょう。

2/21

●話し方のヒント

イエス様を信じることによって、イエス様が私たちの内に生きてくださるなら、心はどうなるのでしょうか？私たちの心の中には、悪魔が持ってきた悪い思いがいろいろありますが、イエス様が私たちの内に生きてくださるなら、悪い思いを追い出して、「愛」「喜び」「平和」などの良い思いを与えてくださいます。悪魔に負けてしまう私たちの弱い心を強くしてください。イエス様に私たちの心の中に生きていただいて、心を強くしていただきましょう。

●ワークについて

イエス様が、私たちの心の中の悪い思いを追い出してくださることを覚えましょう。

2/28

●話し方のヒント

イエス様を信じてイエス様が私たちの内に生きてくださる時、とても素晴らしいプレゼントをいただけることを知っていますか？私たちのからだは、生きている間は「けが」「病気」「悲しみ」「死」などがあって「うめく」ことがあります。けれどもイエス様が再び来られる時、「うめき」が全部「喜び」に変えられる栄光のからだをいただけるのです。イエス様に私たちの内に生きていただいて、栄光のからだを待ち望みましょう。

●ワークについて

栄光のからだに変えられる時、「うめき」が「喜び」に変えられることを覚えましょう。

3/7**●話し方のヒント**

イエス様は十字架で死んでよみがえられた後、天に帰されましたが、何のために帰られたのでしょうか。それはイエス様を信じる私たちの家を、天国に用意するためでした。イエス様は私たちが天国に行くことをとても楽しみにしておられます。そしてイエス様は、私たちが間違いなく天国に行けるように、私たちの心が不安や心配でいっぱいの時も、私たちと共に歩んで私たちの心を守ってくださいます。イエス様と共に、天国に向かってまっすぐに進んで行きましょう。

●ワークについて

イエス様と共に、恐れることなく天国を目指しましょう。

3/14**●話し方のヒント**

「再臨」って何のことか知っていますか？天に帰られたイエス様がもう一度、地上に来てくださることです。その時、今私たちが住んでいる地上は燃えてなくなりますが、イエス様を信じている人たちは、新しい天と地、すなわち神様の国へ迎え入れていただけるのです。再臨はいつ来るのか、それはだれにもわかりません。いつイエス様が来られても神様の国に迎えていただけるように、「イエス様を信じ」「イエス様に従い」「イエス様が来られるのを待って」準備していきましょう。

●ワークについて

再臨の時のために、どのように準備したら良いかを覚えましょう。

3/21**●話し方のヒント**

とても辛く苦しい時、だれかがもうすぐ助けに来てくれることがわかると、不思議に力がわいてきますね。イエス様は私たちが、悲しみや苦しみがある中でも力強く生きて行けるように、「わたしはすぐに来る。そしてあなたがたを悲しみも苦しみも死もない神様の国に迎えてあげよう」と約束してくださいました。その約束を信じて「イエス様、来てください」とお祈りするなら、イエス様は私たちに苦しみを乗り越える力を与えてくださいます。

●ワークについて

イエス様の約束を信じて「主よ、来てください」と祈ることを覚えましょう。

3/28**●話し方のヒント**

イエス様は十字架の上で死なれる直前に、「すべてが終った」と言われました。私たちの罪が赦され救われるためにイエス様がしなければならぬ仕事を、「命をかけて全部やり終えました」と宣言されたのです。私たちを愛して私たちのために命を捨てられたイエス様を信じ、心から感謝しましょう。そしてこのイエス様を信じるなら、再臨の時イエス様の前に立たされても、罪に定められることなく、神様の国に迎えられます。

●ワークについて

私たちを救うためのイエス様の十字架の死を、心に刻みましょう。